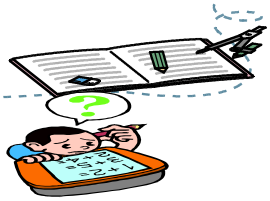
小平中学校　学習に関する瓦版
NO27
平成26年11月21日（金）発行
文責：川野邉勝也

学びのススメ

テストを終えて



期末テストが終わり，ホッとしているところだと思いますが，各教科，手応えはいかがだったでしょうか？

以下，国語のテストを採点していて感じたことを大きく二つ挙げたいと思います。

《ケース１》	ワークブックは〇なのに…

□　テスト後に提出されたワークブックを見ると，ほとんど〇がついている（正解している）のに，それと同じ問題，もしくは似たような問題がテストに出た際，解けていない…こういったケースが多くありました。これっておかしくありませんか

□　たまたま忘れてしまったのか。それとも表面的にさらっとしかやっていなかったのか。それとも，答えを丸写ししただけだったのか…疑問が残ります。

□　テスト範囲を最低２回はやるような計画にと提案してきましたが，計画性がなく，繰り返しやっていない，間に合わないから適当に済ました…そんなことが原因かもしれません。

□　今後，自分の取り組みを見直す必要があるかもしれませんね。

《ケース２》	問題文をよく読んでいない

□　「記号で答えなさい」
　→　×　記号ではなく，言葉で答えてしまっている。

□　「上の文章から読み取れることを書きなさい」
　→　×　授業で習った「上の文章」以外の所から答えてしまっている。

□　「文章中から書き抜きなさい」
　→　×　文中から忠実に書き抜いていない。（表記違い，かぎ括弧・読点なし…など）

□　「〇〇と△△の二語を使って書きなさい」
　→　×　二語を使っていない。

□　「二段落構成で書きなさい」
　→　×　一段落しかない。

上記の内容に心当たりのある人は多いと思います。これらのことは国語だけでなく，他の教科にも言えることなのではないでしょうか。

《ケース１》については，テスト期間中はとにかく勉強にしっかりと向き合う！（学習内容をしっかりと身につけるべく勉強に没頭する。徹底反復を実行する。）

《ケース２》については，今後同じミスを繰り返さないためにも，「うっかりノート」を作成する！

以上のことをしっかりと心に留めておいてほしいです。